

統計調査ニュース

平成27年（2015）9月

No.346



日本の未来のために －平成27年国勢調査－

総務省統計局長 會田 雅人

平成27年国勢調査のインターネット回答が9月10日から始まり、都道府県・市区町村の関係者の皆様や調査員・指導員の皆様におかれましては、調査活動でお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

我が国は、本格的な人口減少社会を迎えており、その中で実施する今回の調査は、少子高齢化や雇用・就業の状況、グローバル化の進展などの社会変化と最新の実態を明らかにするものです。

また、政府においても最重要課題の1つである地方創生を進める上で、まず、各地域の人口や雇用・就業の実状を踏まえることが最も大切であり、国勢調査でしか得ることのできない各地域の詳細な統計データは、豊かで活力ある日本の未来を考え

るために欠かすことのできない資料となります。

今回の国勢調査の標語は「国勢調査 日本の“今”を映し出す」[※]となりましたが、国勢調査において日本の姿を正確に捉えるためには、日本に住む全ての方々に漏れなく正確に御回答いただく必要があります。今回の国勢調査は、世帯の方々に、より便利に御回答いただくために、パソコンやスマートフォンを利用したオンライン調査を初めて全国でスタートし、オンライン回答を推進するための先進的な調査手法を導入するなど、様々な新しい仕組みを取り入れています。もちろん、従来どおり紙の調査票でも御回答いただけますし、封入提出や郵送提出も可能とすることで、生活様式やプライバシー意識に対応した

調査方法となっています。

また、国民の皆様にご国勢調査の重要性等を知っていただくことで、調査活動を少しでも円滑に行えるように、国と地方公共団体において様々な広報を行っています。

今回の国勢調査を成功させ、日本の未来づくりに欠かせない正確な統計を得るためには、国と都道府県及び市区町村の職員、指導員、調査員など、関係者が一致団結して取り組んでいくことが不可欠です。全国の調査関係者の皆様には、安全と健康にも御留意いただき、調査に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

注) 平成27年国勢調査標語（一般部門）

総務大臣賞受賞 石田妙子

目次

日本の未来のために－平成27年国勢調査－	1	平成26年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果の概要	8
平成27年国勢調査のオンライン調査について		小売物価統計調査(構造編) 平成26年分結果の概要	9
－インターネット回答のお願い－	2	10月18日は「統計の日」、全国で関連行事が開催されます！	10
国勢調査2015 広報総合企画		統計局長就任挨拶／子ども統計局見学デーを開催しました！！	11
－広報啓発イベント in 大阪！－	4	第60回世界統計会議参加報告	
平成28年経済センサス－活動調査の実施に向けて(その6)		／西内啓先生を講師にお迎えし、特別コース「エクセルによる	
－企業構造の事前確認について－	6	社会に活かすためのデータ分析入門」を開講	12
個人企業経済調査(構造編) 平成26年結果の概要	7	中核市発とうけい通信 ^⑤	13

平成 27 年国勢調査のオンライン調査について — インターネット回答のお願い —

はじめに

平成 27 年国勢調査では、パソコンやスマートフォンを使ってインターネット回答ができるようになります。今回は、オンライン調査システムへのアクセス方法や操作方法について紹介します。

1 国勢調査オンラインへのアクセス

インターネットアドレスからアクセスする方法 (パソコン及びスマートフォン)

ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に

http://www.e-kokusei.go.jp/

を半角の英字小文字ですべて入力し、パソコンの場合はキーボードの「ENTER」キーを押します。スマートフォンの場合は所定のボタンをタップします。



※インターネットアドレス欄が表示されていないことがあります。その場合は、ウェブブラウザのヘルプなどをご確認ください。

QRコードからアクセスする方法 (読み取りアプリの入ったスマートフォンなど)

QRコードを読み取ってアクセスしてください。



2 国勢調査オンライン窓口へのログイン

- 回答に当たっては、国勢調査オンライン窓口の「回答する」ボタンを押して、表示された内容をご確認の上、画面の案内に沿って利用者情報入力画面へお進みください。
- 同封されている「インターネット回答の利用者情報」に記載されている「調査対象者ID」と「初期パスワード」を半角で入力し、「ログイン」ボタンを押してください。

【パソコンの場合】

〈国勢調査オンライン窓口〉

このボタンをクリック
【回答する】ボタンをクリックしてください。

〈利用者情報入力画面〉

このボタンをクリック
【インターネット回答をはじめよう】ボタンをクリックしてください。

【スマートフォンの場合】

〈国勢調査オンライン窓口〉

このボタンをタップ
【回答する】ボタンをタップしてください。

このボタンをタップ
【回答をはじめよう】ボタンをタップしてください。

〈利用者情報入力画面〉

3 回答データの入力

- ログイン後、画面に表示される案内に沿って、10月1日(木)現在の状況を入力してください。
- 所要時間は、単身の世帯で10分程度、4人の世帯で20分程度です。

4 回答データの送信

- 回答データを保護するため、新しい「パスワード」を設定してから、送信ボタンを押してください。
- ここで設定したパスワードは、回答内容の確認や修正を行うための再ログインに必要となります。

※新しい「パスワード」の設定により第三者による不正なログインを防ぐことができます。
※新しい「パスワード」は、設定した本人以外には知ることができないため、お忘れにならないようご注意ください。

パスワードの設定

- 送信したデータを保護するため、「パスワード」(英字と数字が混在した8文字以上32文字以内の半角英数字)を設定してください。
- 「パスワード」は半角英字(大文字と小文字は区別されます。)、半角数字、及び9種の記号(# \$ % ^ & * @ { } _)で入力してください。
- 回答内容の確認などで再度ログインする際には、ここで設定した「パスワード」が必要となります。

パスワード(必須入力)

パスワード(確認用)(必須入力)

5 回答データの送信完了

- 送信ボタンを押して正しく回答データが送信された場合には、右側の画面が表示されます。
- お時間がある場合には、画面の右側にアンケートがありますので、入力の上「アンケートの回答を送信する」ボタンを押してください。

受付結果を確認してください

受付結果

- 平成27年国勢調査の調査票を郵送付けた、お取りかきになりました。
- 受付状況は以下のとおりです。

調査対象世帯ID	skt7 3ko0 499k
受付日時	平成27年9月19日 10時37分
受付番号	0F35A2649292

- 10月1日(木曜)までお世帯員の調動はご届出内容に変更が生じた場合には再度のログインが必要です。修正をお断りします。なお修正は10月20日(火曜)まで可能です。
- ご調査いただいた内容に誤りや、市区町村で確認し、不届な点がある場合には、いかに電話番号にお問い合わせする場合がございます。

※アンケートにお答えください。

第1 世帯は確認できましたか? (必須)

はい いいえ 不明

第2 平成27年度国勢調査のインターネットで調査しましたか? (必須)

はい いいえ

第3 スマートフォンで回答しましたか? (必須)

はい いいえ

第4 住所が変更になった場合は、お届出内容と異なる住所を入力してください。(任意)

第5 お住みの性別・世帯タイプを選択してください。(任意)

性別 男性 女性

世帯タイプ 30歳未満 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60-69歳 70歳以上

アンケートのご回答は厳格に保守します。
回答が繰り返されたら、アンケートの回答を送信するボタンをクリックしてください。

●インターネット回答のポイント

- ・仕事で帰宅する時間が遅かったり、日中不在が多い世帯でも、開設期間中(9月10日~20日)は、いつでも好きな時間に回答できます。
- ・インターネットで回答された世帯には、紙の調査票が不要となるため、調査員の訪問はございません。なお、インターネットで回答されなかった世帯には、後日、調査員が紙の調査票をお配りします。
- ・不正なアクセスなどの監視を24時間行っていますので、回答データは厳重に守られます。

●かたり調査などにご注意ください!

- ・国勢調査では、電子メールで回答を求めることはありません。国勢調査を装う電子メールが届いても、返信したり、そのメール内にあるインターネットアドレス(URL)などをクリックしたりすることは、絶対にしないでください。
- ・国勢調査をかたって、金銭を求める・個人情報を尋ねるなどの行為を行う不審なウェブサイトを見付けたら、不審なメールを受信したら、お住まいの市区町村にお知らせください。



インターネットでの
回答をお願いします!!



国勢調査 2015 広報総合企画 — 広報啓発イベント in 大阪! —

平成 27 年国勢調査の広報の一環として、グランフロント大阪うめきた広場において、広報啓発イベントを開催しましたので紹介します。

平成 27 年 8 月 22 日（土）にグランフロント大阪うめきた広場において、広報啓発イベントを開催しました。

会場には、国勢調査イメージキャラクターのセンサスくん、インターネット回答促進のイメージキャラクターのみらいちゃんのほか、公式応援団のアップアップガールズ（仮）やご当地キャラクターたちも駆けつけ、大勢の方に参加いただきました。

会場



グランフロント大阪 うめきた広場 サブスペース



アップアップガールズ（仮）とセンサスくん、みらいちゃん

イベントに駆けつけてくれたアップアップガールズ（仮）の皆さんは、前日から「報道キャラバン隊」を結成して、イベントの告知をしてくださいました。

イベント当日は非常に暑い日でしたが、国勢調査公式応援団としての意気込みを笑顔で語ってくれました。

ご当地キャラクターも駆けつけてくれました！！



ご当地キャラクターとカシャ！！

たくさんの方に御来場いただき、アップアップガールズ（仮）の皆さんには、国勢調査実施の御案内をしていただきました。



子どもたちにも大人気！！

センサスくん、みらいちゃん、アップアップガールズ（仮）の皆さんとご当地キャラクターが集合してフォトセッションを行いました。

（センサスくんの後ろ、左から京都府のまゆまる、滋賀県のうおーたん、大阪府のもずやん、和歌山県のきいちゃん、兵庫県のはばタン、中央はアップアップガールズ（仮）の皆さん）



国勢調査御案内中！！

子どもたちを中心に、センサスくん、みらいちゃん、ご当地キャラクターは大人気でした！

イベント会場では、インターネット回答のデモ体験やクリアファイルの配布を行い、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。



「国勢調査 2015」については、リニューアルしたキャンペーンサイトを御覧ください。
URL : <http://kokusei2015.stat.go.jp/>

経済センサス
活動調査

平成28年経済センサス - 活動調査 の実施に向けて (その6) - 企業構造の事前確認について -



平成 28 年 6 月に実施する経済センサス - 活動調査では、主に支社等を有する企業は、本社において支社等の調査票もまとめて回答していただくこととなります。そこで、総務省と経済産業省では、企業情報や支社情報を事前に確認し、この調査を正確かつ円滑に実施するため、調査票の配布に先立ち、支社等を有する企業に対して企業構造の事前確認を実施いたしますので、その概要を紹介いたします。

1 企業構造の事前確認とは？

平成 28 年 6 月に行う経済センサス - 活動調査を正確かつ円滑に実施するため、調査票の配布に先立ち、主に傘下に支社等を有する企業の本社宛てに、企業構造の事前確認票（以下「確認票」という。）を郵送し、支社等の新設・廃止や事業内容を事前に御確認いただき、その事業内容に応じた調査票を配布することを目的とします。

確認票に傘下の支社等の事業内容等を正確に回答いただくことで、全ての事業所の調査票を漏れなく本社に一括して送付することができます。また、事業内容に応じた調査票に事前確認で伺った情報を印字した状態で配布することができます。これにより調査票への回答の御負担を軽減することができ、平成 28 年経済センサス - 活動調査の結果精度の向上も期待されます。

2 対象となる企業は？

傘下に支社等を有する企業（個人経営は除く。）、純粋持株会社、不動産投資法人、資本金 1 億円以上の単独事業所を対象としています。

3 実施期日は？

平成 27 年 10 月 1 日現在で行います。

4 確認事項は？

企業情報（名称、電話番号、所在地、事業内容など）、事業所情報（支社等の新設・廃業の有無、名称、電話番号、所在地、事業内容など）、合併・分割等の状況、調査票の送付先、調査票の回答方法などです。

5 実施方法は？

平成 27 年 9 月中旬以降、対象となる企業の本社宛てに確認票を郵送します。

確認票には、平成 26 年に実施した経済センサス - 基礎調査の情報等を基に支社等の名称、所在地等の情報が印字されていますので、記載されている内容の確認・修正と調査票の回答方法（オンライン又は郵送）を御回答の上、オンライン又は郵送で提出いただきます。

6 支社等とは？

本社が統括している事業所のことで、支所・支社・支店のほか、従業者を有し、事業活動が行われていれば、営業所、工場、配送センターなども含まれます。



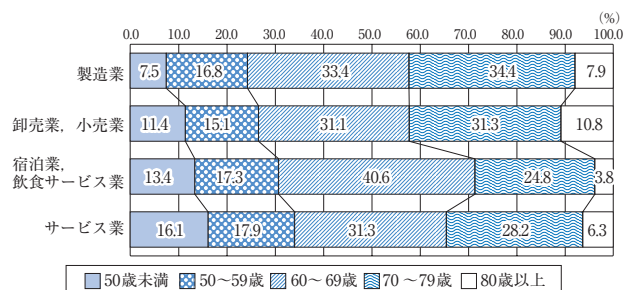
個人企業経済調査（構造編）平成26年結果の概要

個人企業経済調査（構造編）の結果を平成27年7月10日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1 事業主の年齢階級別事業所の割合

事業主の年齢階級別事業所の割合を産業別にみると、最も割合が高い年齢階級は、「製造業」及び「卸売業、小売業」では70～79歳がそれぞれ34.4%、31.3%、「宿泊業、飲食サービス業」及び「サービス業」では60～69歳がそれぞれ40.6%、31.3%となりました。（図1）

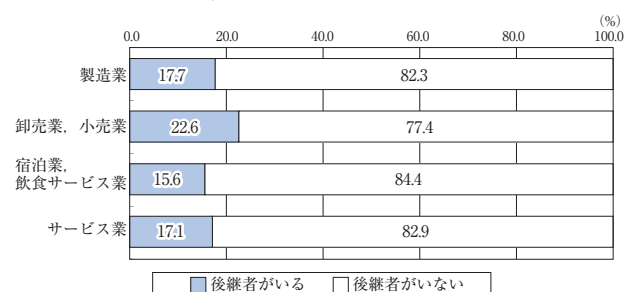
図1 産業、事業主の年齢階級別事業所の割合



2 後継者の有無

後継者がいるとした事業所の割合は、「製造業」が17.7%、「卸売業、小売業」が22.6%、「宿泊業、飲食サービス業」が15.6%、「サービス業」が17.1%となりました。（図2）

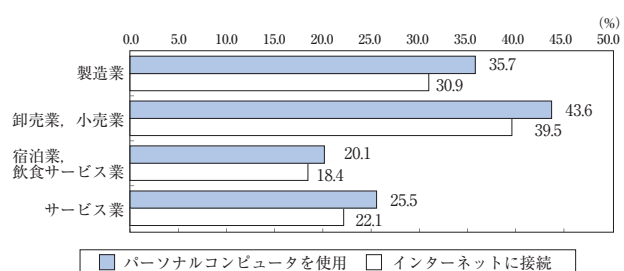
図2 産業、後継者の有無別事業所の割合



3 パーソナルコンピュータの使用の有無

パーソナルコンピュータを事業で使用している事業所の割合は、「製造業」が35.7%、「卸売業、小売業」が43.6%、「宿泊業、飲食サービス業」が20.1%、「サービス業」が25.5%となりました。（図3）

図3 産業、パーソナルコンピュータの使用状況別事業所の割合



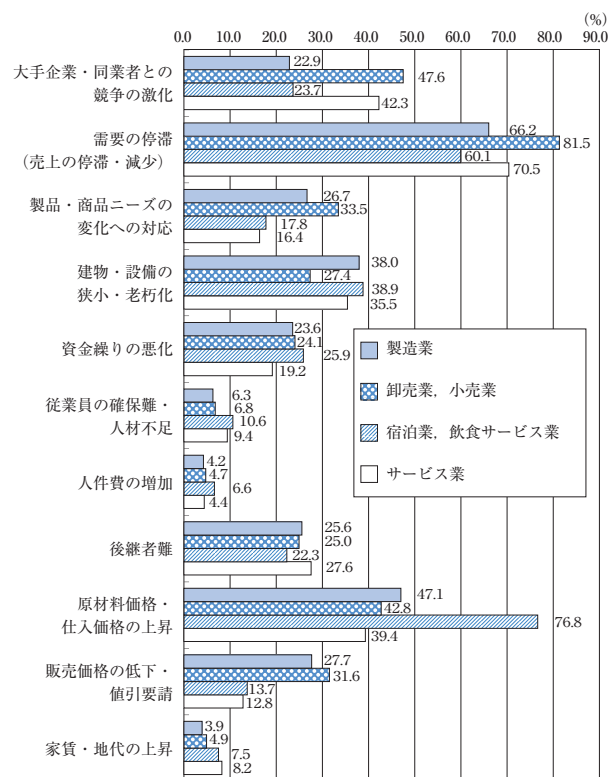
また、インターネットに接続しているパーソナルコンピュータを事業で使用している事業所の割合は、「製造業」が30.9%、「卸売業、小売業」が39.5%、「宿泊業、飲食サービス業」が18.4%、「サービス業」が22.1%となりました。（図3）

4 事業経営上の問題点

事業経営上の問題点として設定している11項目（複数回答）について最も多く挙げているのは、「製造業」、「卸売業、小売業」及び「サービス業」が「需要の停滞（売上の停滞・減少）」でそれぞれ66.2%、81.5%、70.5%、「宿泊業、飲食サービス業」が「原材料価格・仕入価格の上昇」で76.8%となりました。

次に多く挙げているのは、「製造業」が「原材料価格・仕入価格の上昇」で47.1%、「卸売業、小売業」及び「サービス業」が「大手企業・同業者との競争の激化」でそれぞれ47.6%、42.3%、「宿泊業、飲食サービス業」が「需要の停滞（売上の停滞・減少）」で60.1%となりました。（図4）

図4 産業、事業経営上の問題点別事業所の割合（複数回答）



「個人企業経済調査（構造編）平成26年」の詳しい結果については、次のURLからダウンロードできます。

<http://www.stat.go.jp/data/kojinke/kouzou/pdf/gaiyou.pdf>

平成26年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果の概要

全国消費実態調査は、世帯の家計収支、資産などの家計の構造面を総合的に把握する調査として5年ごとに実施しており、平成26年調査は12回目に当たります。同調査のうち、主要耐久消費財に関する結果を平成27年7月31日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1. 普及率

上昇幅が大きいのは、高効率給湯器、空気清浄機

二人以上の世帯について、主要耐久消費財の普及率^(注)(以下「普及率」という。)の前回(平成21年)からの変化をみると、高効率給湯器(+18.8ポイント)が最も上昇し、次いで空気清浄機(+7.8ポイント)となっています。高効率給湯器の普及率が上昇した背景として、近年の省エネルギーに対する意識の高まりや補助金の交付による効果などが考えられます。また、空気清浄機の普及率が上昇した背景としては、花粉症、インフルエンザ、大気汚染(PM2.5)への対策などが考えられます。

一方、通信機器としてスマートフォンが普及したこともあり、携帯電話(PHSを含み、スマートフォンを除く)(-20.3ポイント)の普及率が最も低下しています。(表)

(注) 当該耐久消費財を所有している世帯の割合

表 主要耐久消費財の普及率の上昇・低下幅
(二人以上の世帯)

	品目	普及率(%)		上昇・低下幅 (ポイント)
		平成21年	平成26年	
普及率の上昇幅が大きい耐久消費財	高効率給湯器	5.1	23.9	18.8
	空気清浄機	34.2	42.0	7.8
	ベッド・ソファ・ベッド(作り付けを除く)	65.2	71.9	6.7
普及率の低下幅が大きい耐久消費財	携帯電話(PHSを含みスマートフォンを除く)	92.7	72.4	-20.3
	(参考) スマートフォン	-	58.3	-
	食器戸棚(作り付けを除く)	92.0	81.1	-10.9
	鏡台(ドレッサー)	63.0	55.5	-7.5

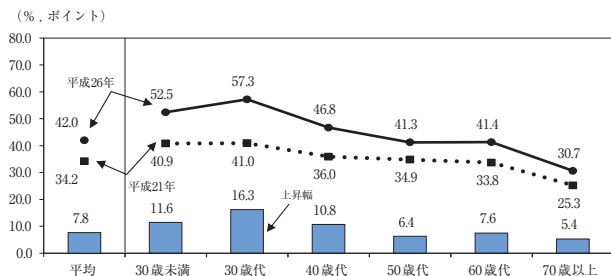
2. 品目別の状況

(1) 空気清浄機の普及率が最も高いのは、世帯主が30歳代の世帯

空気清浄機について、世帯主の年齢階級別に普及率をみると、30歳代が57.3%と最も高く、次いで30歳未満が52.5%、40歳代が46.8%などとなっています。

前回からの変化をみると、全ての年齢階級で上昇しており、30歳代で最も上昇(+16.3ポイント)しています。これは、子育てを行う世代などでは特にきれいな空気に対する関心が高いなどの可能性が考えられます。(図1)

図1 世帯主の年齢階級別空気清浄機の普及率
(二人以上の世帯)

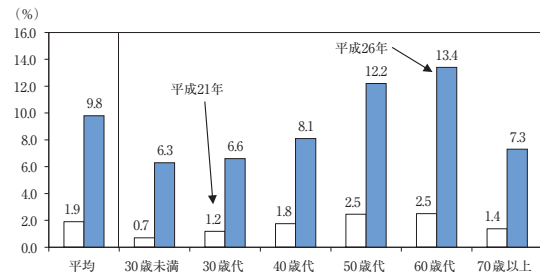


(2) ハイブリッド車の普及率は9.8%で、前回と比べて7.9ポイントの上昇

ハイブリッド車の普及率は、前回の1.9%から9.8%となり、7.9ポイント上昇しています。

世帯主の年齢階級別に普及率をみると、60歳代が13.4%で最も高くなっています。高齢層の世帯では、燃費などへの意識が高くなっている可能性があります。(図2)

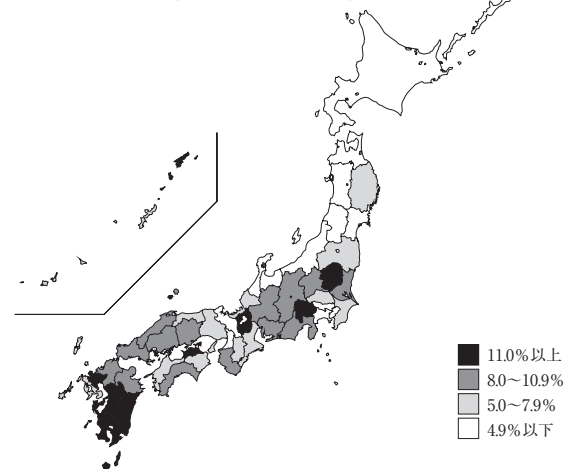
図2 世帯主の年齢階級別ハイブリッド車の普及率
(二人以上の世帯)



(3) 太陽光発電システムの普及率が高いのは、宮崎県、佐賀県などの九州地方

二人以上の世帯について、都道府県別に太陽光発電システムの普及率をみると、宮崎県(14.3%)が最も高く、次いで佐賀県(13.9%)、山梨県(12.4%)、鹿児島県(12.0%)、栃木県、熊本県(共に11.8%)などとなっています。これについては、自治体による支援や日照時間との関係など様々な要因が考えられます。(図3)

図3 都道府県別太陽光発電システムの普及率
(二人以上の世帯)



「平成26年全国消費実態調査」の詳しい結果については、次のURLを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.htm>

小売物価統計調査（構造編）平成26年分結果の概要

小売物価統計調査（構造編）は、物価の地域間比較、店舗の形態別の価格比較などの物価構造を明らかにすることを目的として実施しています。この度、平成26年分結果を平成27年6月30日に公表しましたので、その概要を紹介いたします。

1 地域別価格差

(1) 都道府県別の物価水準（総合）

平成26年平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が105.3と最も高く、次いで神奈川県（103.6）、京都府（101.2）、埼玉県（101.1）、山形県、兵庫県（共に100.7）などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県（95.9）で、次いで長野県（96.9）、岐阜県、佐賀県（共に97.0）と続いています。

最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて、9.4ポイント高くなっています。（表1、図1）

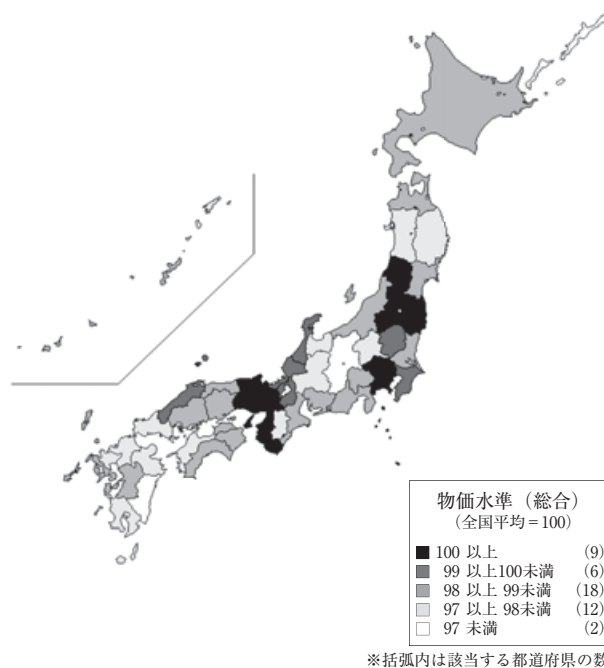
表1 物価水準（総合）上位及び下位5県

（全国平均=100）

順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	105.3	42	群馬県	97.1
2	神奈川県	103.6	42	福岡県	97.1
3	京都府	101.2	44	岐阜県	97.0
4	埼玉県	101.1	44	佐賀県	97.0
5	山形県	100.7	46	長野県	96.9
5	兵庫県	100.7	47	宮崎県	95.9

※同じ順位の場合は、都道府県コード順に掲載しています。

図1 都道府県別の物価水準（総合）



(2) 10大費目別の物価水準

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率（注1）をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都（132.8）は最も低い岐阜県（81.4）の1.63倍となっています。このほか、「教育」（1.44）、「光熱・水道」（1.24）などで比率が高くなっています。

一方、比率が低いのは、「交通・通信」の1.08倍で、次いで「保健医療」（1.09）などとなっています。（表2）

（注1）比率=（最も高い都道府県）/（最も低い都道府県）

表2 10大費目別の物価水準

（全国平均=100）

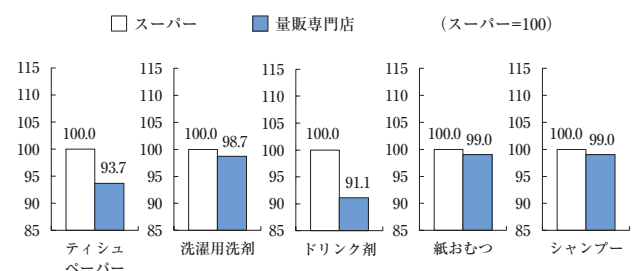
10大費目	最も高い都道府県	最も低い都道府県	比率
食料	東京都 103.7	長野県 94.1	1.10
住居	東京都 132.8	岐阜県 81.4	1.63
光熱・水道	岩手県 110.2	福井県 89.2	1.24
家具・家事用品	福井県 109.4	茨城県 90.6	1.21
被服及び履物	栃木県 111.7	宮崎県 94.4	1.18
保健医療	群馬県 104.6	大分県 96.0	1.09
交通・通信	東京都 103.9	岡山県 96.3	1.08
教育	東京都 114.5	静岡県 79.6	1.44
教養娯楽	東京都 104.5	佐賀県 90.9	1.15
諸雑費	長野県 103.5	沖縄県 92.6	1.12

2 店舗形態の違いによる価格差

スーパーと量販専門店の価格比較を目的として調査している5品目（ティッシュペーパー、洗濯用洗剤、ドリンク剤、紙おむつ（注2）及びシャンプー）の結果をみると、全ての品目で量販専門店の価格が安くなっています。（図2）

（注2）紙おむつは大人用を調査しています。

図2 スーパーと量販専門店の価格水準



「小売物価統計調査（構造編）平成26年分」の詳しい結果については、次のURLからダウンロードできます。

http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2014.pdf

10月18日は「統計の日」、全国で関連行事が開催されます！

統計の日とは

「統計の日」とは、我が国最初の近代的生産統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治3年9月24日を現在の太陽暦に換算して、10月18日としたものです。

これは、統計の重要性に対する国民の皆様の関心と理解を深め、統計調査に対する国民の皆様の一層の協力を頂けるようにと、昭和48年7月3日の閣議了解で定められました。

総務省政策統括官（統計基準担当）室では、関係府省、地方公共団体等と連携し、この「統計の日」を中心として、国民の皆様に統計の重要性や統計調査への協力をお願いするための行事を実施しますので、以下に紹介します。

なお、「統計の日」に関する詳細については、ホームページを御覧ください。

(http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/stkankyo.htm)

統計データ・グラフフェア

平成27年10月17日（土）～18日（日）、東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において、統計データ・グラフフェアを開催します。

統計データ・グラフフェアでは、総務省が後援している統計グラフ全国コンクールの入選作品を展示するほか、我が国の「統計の日」の紹介、国際連合において採択された「世界統計の日」の紹介、各府省の統計調査の紹介、各都道府県が誇る統計データ（例えば「●●県の日本一！」）の紹介及び統計データに関連するパンフレットの配布等を行う予定です。

第65回全国統計大会

平成27年11月19日（木）、国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール（東京都渋谷区）において、第65回全国統計大会を開催します。

全国統計大会では、国、地方公共団体、統計関係団体等の統計関係者が一堂に会して、統計功労者に対する各省大臣表彰、統計グラフ全国コンクール特選受賞者に対する表彰、「統計の日」標語の特選受賞者に対する表彰及び我が国の統計の進歩に貢献した方を顕彰する大内賞の授与を行うとともに、公的統計を中心とする諸問題について討論する第36回統計シンポジウムを開催する予定です。

なお、第36回統計シンポジウムのテーマは、「ICTを活用した平成27年国勢調査の結果データの利活用（仮）」の予定です。

統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会

第63回統計グラフ全国コンクール入選作品の展示会を、前記の統計データ・グラフフェア及び第65回全国統計大会会場ロビーにて開催します。

地方公共団体等主催の行事

《地方統計大会・統計功労者表彰式》

各都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式が開催され、統計功労者及び統計グラフコンクール入選者等の表彰、講演会等が実施されます。なお、各都道府県の地方統計大会等開催日程は、来月号にて紹介します。

《統計グラフコンクール入選作品展示会》

各都道府県の統計グラフコンクール入選作品の展示会が開催されます。

平成27年度「統計の日」ポスター

「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうため、「統計の日」のポスターを作成し、配布しています。今年度は約9万枚作成し、各府省、都道府県庁及び市町村役場の庁舎等のほか、公民館や小中学校等の公共施設に掲示します。

また、ポスターには、毎年行っている「統計の日」標語の募集において、全国からお寄せいただいた標語9,224作品の中から特選に選ばれました鹿児島県屋久島事務所職員 淵之上 修一さんの作品「統計を 今に活かして 未来につなぐ」を活用させていただきました。

なお、この「統計の日」のポスターのデザインや特選・佳作に選ばれた標語は、各府省や地方公共団体において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物、刊行物等に使用されるほか、日常使用している封筒等にも印刷されるなど、幅広く使用される予定です。



平成27年度「統計の日」ポスター

統計に関するニーズ・アンケート

「統計の日」に関連した公的統計の普及・啓発活動時期に併せて、特定のテーマ及び統計一般に関するニーズについて、e-Stat（政府が作成・公表する統計データのポータルサイト）上でアンケートを行う予定です。

統計局長就任挨拶

就任の御挨拶

- まずは国勢調査 -

総務省統計局長 會田 雅人

7月31日付けで統計局長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

この統計調査ニュースが発行される頃は、既に国勢調査のオンライン回答の期間(9月10日～20日)が始まっているかと思いますが、オンライン回答期間が過ぎましても、まだ調査票の配布、収集・郵送回収、督促などがあります。まずは、この最も重要な基幹統計調査である国勢調査を無事実施することが統計局の最大の仕事であると思います。都道府県・市区町村の皆さんの御尽力・御協力をお願いいたします。

さて、公的統計は、国・地方公共団体における行政はもとより、様々な経済・社会活動の局面において意思決定の基礎となる重要な情報基盤です。政府における毎月の月例経済報告では、各種の統計指標が使われ、今後の経済運営の方向が議論されます。

最近では、太田直樹総務大臣補佐官の御指示もあり、統計局では、経済センサスや国勢調査の結果を使って、全ての自治体について、市町村の稼ぐ産業や、今後、伸ばしていく産業などが分かる「地域の産業・雇用創造チャート」を作成し、提供しています。こういった資料

ができるのも、経済センサス、国勢調査といった全数調査の結果があるからです。

このように統計情報は重要なデータですが、近年におけるICTの進展は、統計情報の提供という側面においても、新たなデータ提供に関するチャレンジを可能にしています。統計局では、政府統計の総合窓口であるe-Statにおいて、データを単に提供するだけでなく、APIなどの高度な提供機能の付加、統計情報の様々な分析を可能とする機能の付加などを行ってきました。今後も、ICTを活用し、使いやすい形で利用していただけるよう取り組んでまいります。

また、来年6月には経済センサス - 活動調査が、10月には社会生活基本調査が予定されています。今後とも様々な統計調査を計画的に行い、社会経済の変化に対応した統計情報の発信・提供に努めてまいります。

最後になりますが、正確な統計を作成するためには、御回答いただく国民、企業・事業所の皆さんはもとより、調査事務に携わっていただく調査員、地方公共団体の職員の方々など多くの皆さんの御協力、御尽力が必要です。皆様方の一層の御支援をお願いいたします。

子ども統計局見学デーを開催しました!!

「統計」をより身近に感じていただくことを目的として、小学生(3～6年生)を対象とした夏休みイベント「子ども統計局見学デー」を開催しましたので、その概要を紹介します。

昨年に引き続き、「子ども統計局見学デー」を8月5日～7日に開催しました。

5日には、オープンデータ推進の取組の一環として、プログラミングを通じて統計データに親しんでもらう「子どもプログラミング教室」を初めて実施したほか、6日及び7日には、統計局・統計センターにおいて普段は見られない統計作成の現場を見学する「統計局見学ツアー」や、実際に統計データを使ってグラフを作成し、データを読み取るグループ学習「夏休みの自由研究をお手伝い」を実施しました。

実施後のアンケートでは、「プログラミングの



「子どもプログラミング教室」の様子

楽しさ、大切さが分かった」、「実際のデータを使用して考えることから、データの活用方法が学べた」などの意見が寄せられ、多くの方々に「統計」を身近に感じてもらうきっかけとなりました。

また、7月29日、30日には、小中学生を対象とした夏休みイベント「子ども霞が関見学デー」が開催されました。統計局ブースでは、統計データに関するクイズコーナーや「アプリDe統計」などの体験コーナー、国勢調査のPRコーナーなどを出展し、多くの方々に御来場いただきました。

「子ども統計局見学デー」及び「子ども霞が関見学デー」の様子は、統計局ホームページ「なるほど統計学園」にも掲載しておりますので、御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/c2kodomo.htm>

第60回世界統計会議（ブラジル・リオデジャネイロ）参加報告

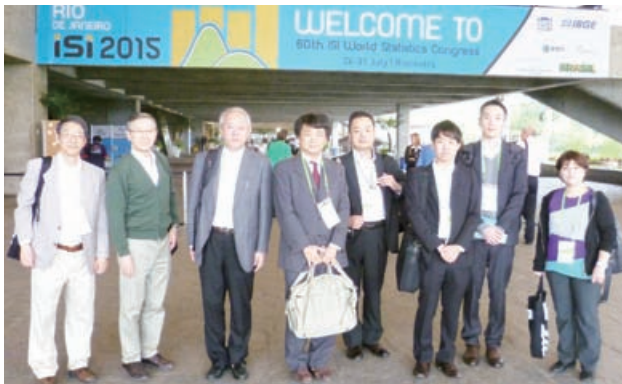
平成 27 年 7 月 26（日）から 31 日（金）に、ブラジル・リオデジャネイロで第 60 回世界統計会議が開催されました。総務省統計局・政策統括官（統計基準担当）及び（独）統計センターから 7 名のほか、国際公的統計協会（IAOS）の川崎茂会長（日本大学教授、元総務省統計局長）が参加しました。

本会議は、統計の実務や研究に関わる世界各国の個人・学会・国家統計組織などが構成する国際統計協会（ISI）が 2 年に一度開催する統計界最大規模の集まりです。開催地ブラジルは冬とはいえ、気温 25 度前後と過ごしやすい環境の中、世界 106 개국・地域から総勢約 1,600 人の統計関係者が参加しました。

統計局・（独）統計センターからは、我が国の事業所母集団データベースにおける経済センサスの活用事例、オープンデータやデータサイエンス人材育成の取組状況、我が国における統計 GIS 機能の活用状況についての発表を

行うなど、日本の統計行政の取組を世界にアピールしました。

また、日本人として初めて IAOS 会長を務めた川崎会長は、この会議で 2 年間の任期満了を迎え、在任中の活動報告や会長招待講演などを行いました。他にも、「今後 10 年間で最もセクシーな職業は統計家である」の言葉で有名なハル・ヴァリアン氏（Google 社のチーフエコノミスト）が特別講演を行うなど、多数の貴重なイベントが開催されました。



会場の Riocentro。本会場は、来年のオリンピックでも使用される。



活動報告（川崎会長は左から 3 人目）

西内 啓先生（「統計学が最強の学問である」の著者）を講師にお迎えし、特別コース「エクセルによる社会に活かすためのデータ分析入門」を開講

統計研修所では、ベストセラーとなった「統計学が最強の学問である」の著者である西内啓先生を講師にお迎えし、7 月 24 日に平成 27 年統計研修特別コース「エクセルによる社会に活かすためのデータ分析入門」を開講しました。

この特別コースは、講義と演習により構成され、講義では、「集計」と「分析」の違い、分析方針の 3 つのポイント「アウトカム」、「解析単位」、「説明変数」を明確にすることなどについての説明がありました。演習では、「政府統計の総合窓口（e-Stat）」からデータをダウンロードし、「どのようなデータを分析に用いるのか」、「どのようにして分析に適したデータに加工するのか」、「どのように分析するのか」について、受講生が各自で Excel を用いて分析を行いました。

本コースは、Excel で関数、ピボットテーブル及び分析ツールを用いる必要があることから、統計研修所が作成した事前学習用 DVD「統計活用のための

EXCEL」を受講生にあらかじめ貸与し、事前に学習してもらったほか、演習のアシスタントとして当研修所の教授及び研究官が加わり、Excel の分析ツールに不慣れな受講生に対するサポートを行うなど、研修の成果の向上に努めました。

統計研修所では、今後も国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象として、統計研修を開催いたします。

是非、御参加ください。

[【http://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.htm】](http://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.htm)

〈お問合せ先〉

統計研修所企画課企画係

TEL 042-320-5874

FAX 042-320-5825

E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

中核市発とうけい通信⑮

「悠久の時を越える, 日本のふるさと奈良」

奈良市総務部総務課

国際文化観光都市として発展を続ける奈良市は、人と自然・歴史が1300年にわたり共生してきた、世界に誇るまちです。『青丹よし 奈良の都は 咲く花の にはふがごとく 今盛りなり』と万葉集にも謳われた奈良市。シルクロードの終着点として、古くから政治、経済、文化の中心として栄えてきました。永い歴史の中で伝統や文化を育み、世界に誇る社寺・仏閣など数多くの文化遺産を有する、日本のふるさとです。

奈良市は、人口36万3千人(8月1日現在)、面積は276.94km²で、奈良県の北部に位置し、近畿地方・日本全国からみて、ほぼ中央に位置しています。

地勢については、北部が奈良山丘陵、東部が高原地域で、中央部と南部は奈良盆地の北部に当たる平坦部、西部は丘陵部となっています。

○悠久の時を越える古都奈良の世界遺産

奈良市は国際文化観光都市の名にふさわしい文化財の宝庫です。特に、代表的な国宝建築物としては、東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺があります。

また、奈良時代の政治・行政の中心であった宮殿の遺跡平城宮跡、奈良公園に隣接し、特別天然記念物に指定されている春日山原始林を加えた市内8つの文化資産群が「古都奈良の文化財」として、平成10年12月、ユネスコの世界遺産に登録されました。

先人たちの手で大切に守り継がれたこの“宝”を前にしたとき、悠久の時を越えたその美しさ・力強さに心を奪われます。



平城宮跡

○一年を通じて味わえる奈良の行事

歴史と伝統が息づく奈良市では、一年を通じて古式ゆかしき様々な行事が情緒たっぷりに繰り広げられます。新春1月には、冬の夜空に真っ赤な炎が燃え上がる若草山の山焼きに始まり、春の訪れを告げる東大寺二月堂の修二会(お水取り)は籠松明が有名です。春先と夏の年2回、3,000基もの燈籠が朱色の回廊を優しく照らし幽玄な雰囲気醸し出す春日大社の万燈籠。8月には、古都の夜を幻想的に彩る灯りのイベント「なら燈花会」が開催され、奈良公園に広がる8つのエリアで20,000本以上のろうそくが美しい灯の花を咲かせます。そして、秋は奈良公園の風物詩、鹿の角きり。12月には、平安時代に五穀豊穡を祈願したのが始まりとされ、国の重要無形民俗文化財にも指定されている、初冬の春日若宮おん祭が

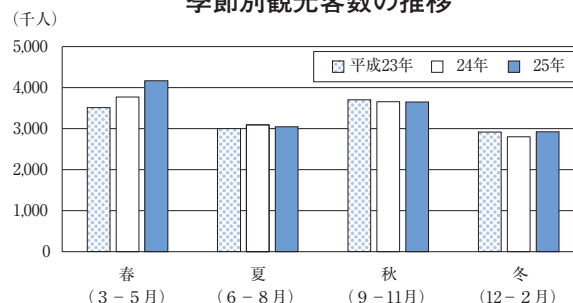
行われます。平安朝の衣装を身につけた大行列は圧巻です。

このように、奈良市では、趣のある雅な伝統行事が一年を通じて行われ、多くの観光客に親しまれています。



なら燈花会

季節別観光客数の推移



○茶の湯の華開く奈良の都～珠光茶会～

奈良市では、古都奈良の世界遺産を含む七社寺や古い街並みを残す「ならまち」のお茶室を会場として2月に珠光茶会を開催します。日本の伝統的文化である、わび茶は、室町時代の茶人で奈良出身の村田珠光が創始し、堺で生まれた千利休が大成させて全国に普及したと言われています。茶道の祖と言われる珠光が育ち、お茶の産地でもある古都奈良で、冬の味わいを活かした大茶会に参加し、古都の風情を味わいながら、お茶文化に親しんでください。



珠光茶会

○オープンデータの利活用を推進

奈良市では、平成25年4月に「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」を設置し、それ以降、オープンデータの推進に努めてきました。

平成26年度はオープンデータカタログサイトを開設し、「統計なら」を中心にオープンデータとして公開しました。奈良市のオープンデータカタログをどうぞ御利用ください。今後も、更なる充実を目指し、取り組んでいきます。

最近の数字

		人口		労働・賃金		産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価		
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
実数	H27. 3	126,896	6319	3.4	307,364	98.1	35.7	317,579	364,614	103.3	102.1	
	4	P12691	6342	3.3	304,981	99.3	P27.5	300,480	384,710	103.7	102.4	
	5	P12688	6400	3.3	300,799	97.2	P27.5	286,433	327,875	104.0	102.6	
	6	P12689	6425	3.4	516,839	98.3	P28.8	268,652	581,279	103.8	102.2	
	7	P12695	6381	3.3	P420,301	P97.7	...	280,471	472,058	103.7	102.0	
	8	P12689	P102.1
	前年同月比	H27. 3	-	0.3	* -0.1	0.1	* -0.8	3.2	-10.6	-1.1	2.3	2.3
		4	-	0.1	* -0.1	0.7	* 1.2	P2.5	-1.3	2.3	0.6	0.7
5		-	0.0	* 0.0	1.2	* -2.1	P1.8	4.8	1.5	0.5	0.5	
6		-	0.6	* 0.1	-3.3	* 1.1	P2.5	-2.0	1.7	0.4	0.3	
7		-	0.4	* -0.1	P0.8	* P -0.6	-	-0.2	5.0	0.2	0.1	

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2015年9月～10月)

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
9月1日	統計研修 統計専門課程「人口統計による地域分析」開講(～3日)	10月1日	平成27年国勢調査調査日(調査票回収1日～7日)
7日	統計研修 本科(総合課程)開講(～12月11日)	2日	通信研修「入門1(10月)」開講(～23日)
10日	平成27年国勢調査オンライン調査開始(～20日)	17日	統計データ・グラフフェア(～18日)
〃	通信研修「入門1スクーリング(9月)」開講(～11日)	27日	統計研修 統計専門課程「政策と統計」開講(～30日)
14日	個人企業経済調査地方別事務打合せ会(～10月14日)		
17日	第91回統計委員会		
28日	家計調査に関する地方別事務打合せ会(～11月12日)		

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
9月4日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年7月分速報)公表	10月20日	人口推計(平成27年5月1日現在確定値及び平成27年10月1日現在概算値)公表
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年8月分公表	29日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)9月分)公表
10日	Statistical Handbook of JAPAN 2015 刊行	30日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)9月分(速報)及び平成27年(2015年)7～9月期平均(速報)公表
11日	家計調査(家計消費指数：平成27年(2015年)7月分)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)9月分速報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年7月分確報)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編：平成27年(2015年)4～6月期平均速報)公表
24日	人口推計(平成27年4月1日現在確定値及び平成27年9月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)9月分、東京都区部：平成27年(2015年)10月分(中旬速報値))公表
〃	平成25年住宅・土地統計調査(追加集計)公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成27年9月分(東京都区部：平成27年10月分))公表
25日	消費者物価指数(全国：平成27年(2015年)8月分、東京都区部：平成27年(2015年)9月分(中旬速報値))公表	〃	サービス産業動向調査(平成27年8月分速報)公表
〃	小売物価統計調査(全国：平成27年8月分(東京都区部：平成27年9月分))公表	〃	サービス産業動向調査(平成27年5月分確報)公表
28日	住民基本台帳人口移動報告(平成27年(2015年)8月分)公表		
30日	サービス産業動向調査(平成27年7月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成27年4月分確報)公表		
下旬	平成26年全国消費実態調査(単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表		
10月2日	労働力調査(基本集計)平成27年(2015年)8月分(速報)公表		
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成27年(2015年)8月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成27年9月分公表		
9日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年8月分速報)公表		
16日	家計調査(家計消費指数：平成27年(2015年)8月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成27年8月分確報)公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計情報システム課
 統計情報企画室 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>
 御意見・御感想をお待ちしております。